

肥前名護屋、煌めく

―豊臣秀吉と桃山文化―

Saga Prefectural Nagoya Castle Museum



南蛮屏風
(重要文化財/大阪城天守閣蔵)(右隻・前期)



花の小面
(重要文化財/三井記念美術館蔵)
(全期)



花樹鳥獸蒔絵螺鈿洋櫃
(岐阜市歴史博物館蔵)(後期)



西王母・東方朔図屏風 狩野光信 筆
(出光美術館蔵)(後期)



天正大判
(名古屋博物館蔵)(全期)



胡銅大會呂利花生
(五島美術館蔵)(後期)

織田信長、豊臣秀吉による国内統一が進んだ16世紀後半、それまでの伝統的な枠組みにとらわれない自由で荘厳華麗な桃山文化が開きました。

国内統一を果たし天下人となった秀吉が文禄・慶長の役の拠点として築いた名護屋城には金箔瓦で飾られた天守がそびえ、城内は狩野派や長谷川派が描いた障壁画で彩られたと伝わります。また、秀吉や大名たちによって能や茶の湯が盛んに行われ、城下には南蛮人など異国の人々との交流もあり、桃山文化盛栄の地となりました。

佐賀県立名護屋城博物館では、かつて名護屋城に置かれ、華やかな桃山文化を象徴する「黄金の茶室」を令和4年3月に復元・公開しました。本展では、この公開を記念し、多様な特色をもつ桃山文化の中から、特に名護屋城に関連の深い「黄金」、「茶の湯・能」、「桃山絵画」、「南蛮文化」をテーマとし、桃山時代を代表する一級の資料・作品を一室に御紹介します。美しく輝いていた「文化都市」肥前名護屋の姿を、是非ご覧ください。

【出品協力】

国立歴史民俗博物館、東京国立博物館、文化庁、公益財団法人出光美術館、三井記念美術館、公益財団法人前田育徳会、公益財団法人五島美術館、名古屋市秀吉清正記念館、名古屋博物館、岐阜市歴史博物館、総本山醍醐寺、京都国立博物館、京都府考古資料館、公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター、大阪市立住まいのミュージアム、大阪城天守閣、大阪歴史博物館、公益財団法人大阪府文化財センター、日出町歴史資料館・帆足万里記念館、九州国立博物館

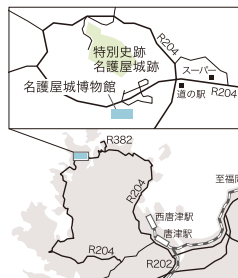
※会期中に展示替えを行います。

関連イベント

11/5(土)
名護屋城跡
薪能

会場：名護屋城跡二ノ丸

主催：唐津市名護屋城跡薪能実行委員会



佐賀県立名護屋城博物館までのアクセス

【お車で越しの場合】

- 佐賀方面から
長崎自動車道・多久ICから厳木多久有料道路を経由して国道204号(約70分)
- 福岡方面から
福岡前原有料道路、二丈浜玉道路から国道202、204号(約90分)

【公共交通で越しの場合】

筑肥線西唐津駅もしくは唐津大手口バスセンター(唐津市役所隣)から昭和バス(約40分)、「名護屋城博物館入口」下車、徒歩約5分